

オートポリス 2021ゴールドカップ 第3戦 Super FJ JAPAN CHALLENGE 第2戦

2021年 6月 13日 天候曇り/雨 参加17台



テキスト:はた☆なおゆき

スーパーFJの全国戦「スーパーFJ ジャパンチャレンジ」の第2戦、ゴールドカップレース第3戦が6月13日にオートポリスで開催された。今回は鈴鹿からの遠征もあり、地元勢と合わせて17台でバトルが繰り広げられるとともに、大いに賑わいを見せていた。

また、このレースに先駆けてオートポリスシリーズはシリーズ日程の変更も発表されており、悪天候によりキャンセルとなった第1戦が、10月10日に第4戦と併せて行われることとなっている。

さて、阿蘇山中の高地に位置することから天候が安定せず、霧ならぬ雲に覆われやすいサーキットではあるものの、このレースウィークは土曜日までは雨が時折降ったりする、まさに気まぐれな天候に祟られたものの、予選・決勝を行う日曜日はドライコンディションが保たれた。決勝の終盤までは……。

今回は本戦の様子を伝える前に、注目のドライバーを紹介したい。第2戦で初優勝を飾った東慎之介（あずま しんのすけ）選手である。スーパーFJは3年目となる、21歳のドライバーは小学校5年生からカートレースを始め、8年間活動。MAX シニアクラスまで戦った後、

2019年にスーパーFJへの参戦を開始する。

「1年目はウエスト07Jで、昨年から今年のクルマと個体は違っているんですが、ミストKK-SIIに乗らせていただいて、そこからすべてのレースでどんどん順位を上げていったことで、今年はほとんどワークス状態に近いクルマをお借りして、戦うことになりました」

「昨年はコロナの影響で、全然レースできていなかったんですが、そんななかでもご支援い



ただいていた方々、スポンサーの皆さんのおかげで、きちんと練習できたことで、前回のような結果が残せたのだと思います。そこは自分を支えてくれた方々に感謝しています」

「自分的には、ドライビングスタイルが大きく変わった、というのもあります。もともと2019年の段階では、まだカートのクセが残っていて、リヤタイヤをエンジンパワーで曲げるという感じの走りだったんですが、今はほとんど惰性で転がすような、マシンに負担をかけないような走りになっています」

周囲への感謝を語るとともに、自身の成長も自覚している東選手に対し、今回久々の遠征を果たした、岡本大地選手との対決は、誰もが大いに興味とするところ。

「かなり手強い相手だと思いますし、簡単に勝てるような相手ではないのは分かっています。自分なりにできることは何か、常に考えていってプッシュしていけたらな、と思っています」
そう、誰より岡本選手との対決を、心待ちとしていたのが東選手だったのである！

予選は11時15分から、15分間の計測で競われた。真っ先にタイミングモニターのいちばん上に名前を記したのは、篠田義仁選手。その次の周に、東選手が2分1秒779を出してトップに立ったのも東の間、すぐに出し抜く格好となったのが、岡本選手だった。昨年のジャパンチャレンジ王者にして、もちろんオートポリスでも優勝経験を持つドライバーだけに、いきなり東選手のタイムを約1秒上回る2分0秒921をマーク。これにチームメイトの高口大将選手も続いていく。

次の周に岡本選手は2分0秒565にまで短縮を果たした後、いったんピットに戻る。その後、高口選手が着実にタイムを詰めていき、2分0秒703と岡本選手にコンマ1秒差にまで迫ったのに対し、東選手は2分2秒を再び切ることができずにいた。

そして終盤になって岡本選手は、再度コースイン。ラストアタックにすべてを賭けるも、セクター3の「さよりんブリッジ」脇でコースアウト！ 右フロントの足回りにトラブルを抱えたのが原因だった。幸い、タイヤバリアなどにヒットすることなく、ダメージは最小限。決勝の出走は問題なさそうだ。そして辛くもポールポジションを獲得することとなった。

2番手は高口選手で、3番手が東選手。そしてウエスト19JをドライブするKOUKI SAKU選手が4番手につけ、篠田選手が5番手に。遠征ドライバーは夕田大助選手が6番手で、上吹越哲也選手が10番手となった。

ポールポジション：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「右前のナックルが折れて、コースアウトしてしまいました。それまでにタイム残していたので良かったんですけど、アタック最後に行っていたところだったので、タイム的にはもう少し行けたかなと。途中でピット入ったのは間合いを取るため、渋滞の中で走っていたから。しっかりクリアを取って、最後にドンと行くつもりだったんですが……。ぶつからなくて良かったです。決勝で思っ切りいきます」



予選2番手：高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「タイムがラップ重ねるごとに、だいぶ良くなってきたのは分かっていたので、自分も焦らないで、確実に走ることを意識していました。岡本選手にコンマ1秒差でも、最後止まってしまったので、それがなければもっと離されていたと思います。決勝で着いていければ、チャンスがあれば行きたいです！」



予選3番手：東慎之介選手（セルモグループ ORM/戸田 ED）

「けっこうタイム差がついてしまったのは、自分の反省すべき点だと。熱ダレの影響だと思うんですが、この暑さ、環境に対し、ドライビングをどう変えていくか重要になると思うんですが、自分のセッションではうまくいかなかった部分が多かったのかな、と思っています。決勝では絶対に置いて行かれないように、順位を上げられるように頑張りたいと思います」



さて、決勝レースまではなんとか雨も降らず、ドライコンディションは保たれていた。結論から言えば、その雨は終盤になってついに降り始め、そのタイミングがもう2周ぐらい早かったら、展開にも大きな変化が生じていたかもしれない。

ともあれ、注目のスタートで無難なダッシュを見せて、トップに立った岡本選手だったが、コーナーをひとつクリアするたび、目にも明らかな差がついていき、オープニングラップを終えた段階で、早くも後続を2秒2も引き離していた。2番手は高口選手ながら、3番手にはスタートを決めた KOUKI SAKU 選手が浮上し、東選手を従える。5番手には篠田選手、そして予選7番手の碓井ツヨシ選手、9番手だった TERUO 選手が、その後続く。

2周目に入ると岡本選手は、4秒もの差をつけていたばかりか、予選を上回る1分59秒941をマークして、このレースのファステストラップに。3周目にはついにリードが5秒に達していた。

しかし、その直後にセーフティカーが。1コーナーで2台が絡むアクシデントが発生したためだ。3周の先導の後、レースは再開。リスタートを完璧に決めた岡本選手は、計測ライン上でもう1秒6の差をつけた。

高口選手もまた後ろを離していたが、KOUKI SAKU 選手と篠田選手、東選手は急接近。特に

東選手は SC が入る前に篠田選手に交わされていたから、挽回のチャンスが訪れたことになる。まず動いたのは篠田選手、リスタート後の1コーナーで前に出る。KOUKI SAKU 選手とのバトルがなおも続く間に、9周目の1コーナーで東選手は、一気に2台をかわして3番手に躍り出た。ところが、その週の第2ヘアピンで3台が絡むアクシデントが発生。東選手と KOUKI SAKU 選手がコースアウトして万事休す……。

さらに、その後もドラマが待ち構えていた。ついに雨が降り出し、瞬く間にコースを黒く染めたのだ。岡本選手のペースより高口選手のペースが速く、差はぐっと詰まっていたが、チェッカーが振られてレースは終了。岡本選手は昨年からのオートポリスでの連勝記録を、『3』に伸ばすこととなった。

2位は高口選手で、自己最上位。篠田選手が3位で、碓井選手が4位、そして予選8番手だった入江裕樹選手が5位に。6位は夕田選手。最終ラップまで4番手につけていた、TERUO 選手は7位となった。また、リタイアに終わった東選手は「悔しいです。トップのふたりに着いていけなかったこと以上に、リタイアしてしまったことが。あの場所にいた自分が何より悪いので、今回のレースをちゃんと反省して学び、もっと評価してもらえるよう頑張ります」と語っていた。





優勝：岡本大地選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「2周目には59秒台入りましたね。予選の最後に何も起こらなかったら、このぐらい出ていたんでしょ。それとSC入らなかったら、きっと最後までドライで走れたと思うんですよ。雨が降り始めてからは、ちょっと難しいコンディションになって、怖くて最後は（苦笑）。高口選手に詰められたんですけど、それまで築いていたリードでなんとか持ちこたえられて良かったです。ホント、焦りました、高口選手の最後のペースには。今週末あんまり走っていませんでしたが、彼は今週末こういうコンディションをけっこう走っていたので、たぶん自信持っていけたんだと思います。僕は怖くて、よう行かんでした（笑）」

2位：高口大将選手（FTK・レヴレーシングガレージ）

「最後、雨が降ってきた時に、昨日の練習走行でウェット路面をスリックタイヤで走っていたので、だいたいどこが濡れて、どこがグリップしないか分かっていたので、そこをきっちり詰めながら行ったんですが、リスタートで話されてしまったこともあり、追いつけなかったです。ここ初めて走ったんですが、いっぱい新しい課題も見つかったし、見直すべきところもあったので、しっかり反省して今後のレースに活かせるようにしたいと思います」

3位：篠田義仁選手（イワモトレーシング／制動屋／SJ）

「前回、最後にちょっと悔しい思いをただけに、今回は確実に表彰台狙っていきたくて走っていたんですけど、なんとか結果的に上がれて良かったです。でも、やっぱりアクシデントがあると、スッキリしない部分はありますね。これをまたポジティブに考えて、次戦以降、いいレースをしたいと思います」

☆スーパーFJジャパンチャレンジの第3戦は、8月7～8日に岡山国際サーキットにおいてダブルヘッダー／リバーズグリッド制で開催される。過去2年間、最も盛り上がりを見せてきた舞台ということもあり、今から期待は高まるばかりだ。



スーパーFJ 公式予選

2021 / 6 / 13 12:15



正式結果

Weather: 晴れ / 21°C

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track: ドライ

Pos	No	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	2'00.565	3 / 5		139.563
2	7	高口 大将	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	2'00.703	6 / 7	0.138	139.403
3	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KK-SII	2'01.932	3 / 8	1.367 1.229	137.998
4	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	2'02.483	3 / 7	1.918 0.551	137.377
5	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	2'02.661	6 / 8	2.096 0.178	137.178
6	10	夕田 大助	LAPS	MYST KK-SII	2'02.669	7 / 7	2.104 0.008	137.169
7	13	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	2'02.930	8 / 8	2.365 0.261	136.878
8	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KK-SII	2'02.936	5 / 8	2.371 0.006	136.871
9	11	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-SII	2'03.066	5 / 7	2.501 0.130	136.727
10	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	2'03.209	5 / 7	2.644 0.143	136.568
11	41	高良 年彦	PFCJ☆タカラケンセツLBJ	WEST 17J	2'03.305	5 / 8	2.740 0.096	136.462
12	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	2'03.428	3 / 8	2.863 0.123	136.326
13	42	岡井 貴経	大枝ちゃんに借りたKKS-II	MYST KK-SII	2'03.482	8 / 8	2.917 0.054	136.266
14	23	宮本 健一	KMTS-RT ミスト KK-S II	MYST KK-SII	2'03.954	3 / 7	3.389 0.472	135.747
15	19	大隈 雄策	フィオーレMS オガテック ミシマ11J	WEST 11J	2'05.716	7 / 7	5.151 1.762	133.845
16	6	DON LUCIANO	LBJレーシングMRS	MYST KK-SII	2'06.152	6 / 7	5.587 0.436	133.382
17	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	2'07.200	7 / 7	6.635 1.048	132.283

***** 以上予選通過 (2'37.386 - 130%) *****

スーパーFJ 決勝

2021 / 6 / 13 18:05



正式結果

Weather: 雨 / 22°C

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track: ウエット

Pos	No	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time	
1	8	岡本 大地	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	10	25'53.561		107.748	1'59.941	
2	7	高口 大将	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	10	25'54.843	1.281 1.281	107.659	2'01.702	
3	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	10	26'08.934	15.372 14.090	106.692	2'03.772	
4	13	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	10	26'10.673	17.112 1.739	106.574	2'04.108	
5	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツミレーシング	MYST KK-SII	10	26'13.089	19.527 2.415	106.410	2'04.314	
6	10	夕田 大助	LAPS	MYST KK-SII	10	26'14.747	21.185 1.658	106.298	2'05.337	
7	11	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-SII	10	26'17.000	23.438 2.253	106.146	2'04.158	
8	23	宮本 健一	KMTS-RT ミスト KK-S II	MYST KK-SII	10	26'17.446	23.884 0.446	106.116	2'05.920	
9	9	上吹越 哲也	FTK・レウレーシングガレージ	MYST KK-SII	10	26'20.946	27.384 3.499	105.881	2'06.140	
10	6	DON LUCIANO	LBJレーシングMRS	MYST KK-SII	10	26'25.463	31.901 4.517	105.580	2'07.363	
11	19	大隈 雄策	フィオーレMS オガテック ミシマ11J	WEST 11J	10	26'26.921	33.359 1.457	105.483	2'08.083	
12	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	10	26'40.695	47.133 13.774	104.575	2'07.967	
*3	13	41	高良 年彦	PFCJ☆タカラケンセツLBJ	WEST 17J	10	26'47.630	54.068 6.934	104.124	2'05.719
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****										
*2	46	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	8	21'45.568	2Laps 2Laps	102.438	2'03.258	
	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KK-SII	8	21'46.204	2Laps 0.636	102.388	2'03.662	
	42	岡井 貴経	大枝ちゃんに借りたKKS-II	MYST KK-SII	4	9'30.635	6Laps 4Laps	116.422	2'06.209	
*1	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	3	6'24.941	7Laps 1Lap	128.871	2'06.311	

